

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-164529

(43) 公開日 平成10年(1998) 6月19日

(51) Int.Cl.<sup>5</sup>  
H 0 4 N 7/08  
7/081  
H 0 4 H 1/00

識別記号

F I  
H 0 4 N 7/08 Z  
H 0 4 H 1/00 H

審査請求 有 請求項の数 8 F D (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平8-334717

(22) 出願日 平成8年(1996)11月28日

(71) 出願人 000001889

三洋電機株式会社

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号

(72) 発明者 松山 久

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三

洋電機株式会社内

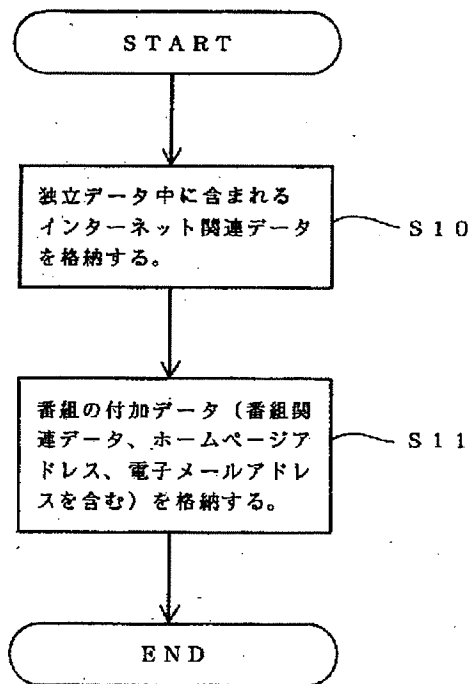
(74) 代理人 弁理士 長屋 文雄 (外1名)

(54) 【発明の名称】 テレビジョン放送方法及びテレビジョン受信装置

(57) 【要約】

【課題】 インターネットにおけるアクセスをより容易に行なうことができるとともに、ある番組のスポンサーや関係者のアドレスに容易にアクセスすることができるテレビジョン放送方法及びテレビジョン受信装置を提供する。

【解決手段】 テレビジョン放送の受信データには、インターネット関連データが格納される。つまり、ホームページアドレス、電子メールアドレス等がURLとしてテレビジョン受信装置に送信され、テレビジョン受信装置は、このアドレスにアクセスして、ホームページにアクセスしたり電子メールを送ったりする。このインターネット関連データは、受信データにおける独立データ中に含まれたり、また、ある番組の付加データに含まれるので、独立データや付加データから該データを取り込んで (S10、S11)、上記アドレスによりアクセスを行なう。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 デジタルテレビ放送の受信データに、インターネットに関するアドレスのデータを含めて放送を行なうことを特徴とするテレビジョン放送方法。

【請求項2】 インターネットに関するアドレスのデータは、URLとして受信データに含まれていることを特徴とする請求項1に記載のテレビジョン放送方法。

【請求項3】 受信データにおける独立データに、インターネットに関するアドレスのデータとして、ホームページアドレスが格納されていることを特徴とする請求項1又は請求項2に記載のテレビジョン放送方法。

【請求項4】 受信データにおける独立データに、さらに、アクセス可能なホームページを紹介するための表示データとしてのホームページ紹介データと、該ホームページ紹介データに紹介されているホームページの表紙データとが格納されていることを特徴とする請求項3に記載のテレビジョン放送方法。

【請求項5】 受信データにおける所定の番組データの付加データに、インターネットに関するアドレスのデータとして、該番組データについての番組のスポンサーのホームページアドレスと、該番組の出演者、スタッフ等の関係者の電子メールアドレスとが格納されていることを特徴とする請求項1又は請求項2に記載のテレビジョン放送方法。

【請求項6】 受信データにおける付加データに、さらに、アクセス可能なホームページと電子メールの宛先とを紹介するための表示データとしての番組関連データと、該ホームページ紹介データに紹介されているホームページの表紙データとが格納されていることを特徴とする請求項5に記載のテレビジョン放送方法。

【請求項7】 デジタルテレビ放送を受信するテレビジョン受信装置であって、デジタルテレビ放送の受信データに含まれるインターネットに関するアドレスのデータを取り込み、このアドレスのデータに従いアクセスを行なうことを特徴とするテレビジョン受信装置。

【請求項8】 インターネットに関するアドレスのデータは、URLとして受信データに含まれ、このURLによりアクセスを行なうことを特徴とする請求項7に記載のテレビジョン受信装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、テレビジョン放送方法とテレビジョン受信装置に関するものであり、特に、CS放送等のデジタルテレビ放送方法とそのテレビジョン受信装置に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来より放送衛星を用いたBS放送や通信衛星を用いたCS放送等のテレビジョン放送が行なわれている。ここで、特に、上記CS放送等のデジタルテ

レビ放送のサービスが近時広がりつつある。また、近時、インターネットが急速に普及しつつあるが、このインターネットを使ってホームページにアクセスしたり、電子メールを送ったりすることが行なわれている。また、特開平7-288606号公報には、ホームショッピングについてのテレビジョン放送において、電話番号を表すデータを配信する点が開示されている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、従来では、ホームページのアドレス等の所定のアドレスにアクセスしようとする場合には、ホームページアドレス等のアドレスを入力してアクセスするか、あるいは、情報検索システムにより希望する会社等を検索してアクセスする必要がある。また、テレビジョン放送を視聴していて、ある番組のスポンサーのホームページにアクセスする場合には、上記と同様の手間が必要であり、また、ある番組の出演者等にメールを送りたい場合には、メールアドレスを入手してアクセスする必要がある。そこで、本発明は、インターネットにおけるアクセスをより容易に行なうことができるとともに、ある番組のスポンサーや関係者のアドレスに容易にアクセスすることができるテレビジョン放送方法及びテレビジョン受信装置を提供することを目的とするものである。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は上記問題点を解決するために創作されたものであって、第1には、デジタルテレビ放送の受信データに、インターネットに関するアドレスのデータを含めて放送を行なうことを特徴とする。よって、テレビジョン受信装置によってこのアドレスのデータを取り込んでこのアドレスにアクセスすることにより、容易にアクセスを行なうことができる。

【0005】また、第2には、上記第1の構成において、インターネットに関するアドレスのデータは、URLとして受信データに含まれていることを特徴とする。よって、このURLによりアクセスを行なうことができる。また、第3には、上記第1又は第2の構成において、受信データにおける独立データに、インターネットに関するアドレスのデータとして、ホームページアドレスが格納されていることを特徴とする。よって、テレビジョン受信装置によってこのホームページアドレスを取り込むことにより、ホームページに容易にアクセスすることができる。また、第4には、上記第3の構成において、受信データにおける独立データに、さらに、アクセス可能なホームページを紹介するための表示データとしてのホームページ紹介データと、該ホームページ紹介データに紹介されているホームページの表紙データとが格納されていることを特徴とする。この第4の構成のテレビジョン放送方法においては、受信データにホームページ紹介データが格納されているので、テレビジョン受信装置によりこのホームページ紹介データを取り込んでこ

のホームページ紹介データを表示することにより、ユーザにアクセス可能なホームページを知らせることができる。また、表紙データが格納されているので、あるホームページへのアクセスが完了するまでの間、ホームページの表紙を表示しておくことができる。

【0006】また、第5には、上記第1又は第2の構成において、受信データにおける所定の番組データの付加データに、インターネットに関するアドレスのデータとして、該番組データについての番組のスポンサーのホームページアドレスと、該番組の出演者、スタッフ等の関係者の電子メールアドレスとが格納されていることを特徴とする。よって、テレビジョン受信装置によって上記ホームページアドレスを取り込むことにより、ホームページに容易にアクセスすることができ、また、上記電子メールアドレスを取り込むことにより、出演者等の関係者に容易に電子メールを送ることができる。また、第6には、上記第5の構成において、受信データにおける付加データに、さらに、アクセス可能なホームページと電子メールの宛先とを紹介するための表示データとしての番組関連データと、該ホームページ紹介データに紹介されているホームページの表紙データとが格納されていることを特徴とする。よって、受信データに番組関連データが格納されているので、テレビジョン受信装置によりこの番組関連データを取り込んで表示することにより、ユーザにアクセス可能なホームページを知らせるとともに、電子メールを送信可能な関係者を知らせることができる。また、表紙データが格納されているので、あるホームページへのアクセスが完了するまでの間、ホームページの表紙を表示しておくことができる。

【0007】また、第7には、デジタルテレビ放送を受信するテレビジョン受信装置であって、デジタルテレビ放送の受信データに含まれるインターネットに関するアドレスのデータを取り込み、このアドレスのデータに従いアクセスを行なうことを特徴とする。よって、テレビジョン放送の受信データに含められたアドレスに従いアクセスするので、容易にホームページ等にアクセスすることができる。また、第8には、上記第7の構成において、インターネットに関するアドレスのデータは、URLとして受信データに含まれ、このURLによりアクセスを行なうことを特徴とする。

【0008】

【発明の実施の形態】本発明の実施の形態としての実施例を図面を利用して説明する。本発明に基づくテレビジョン受信装置Aは、図1に示されるように構成され、BS・UHF・VHF共用受信部10と、CS用チューナー12と、QPSK復調部14と、誤り訂正部16と、スクランブル解除部18と、データ分離・番組選択部20と、映像デコーダ22と、音声デコーダ24と、格納部26と、キャラクタジェネレータ28と、インタフェース30と、表示部32と、スピーカ34と、DVD-

RAMドライブ36と、ホームオートメーション通信部40と、リモコン受光部42と、スロット44と、モデム46と、記憶部48と、インターネットソフトウェアモジュール（以下単に「モジュール」とする）50と、CPU52とを有している。

【0009】ここで、上記BS・UHF・VHF共用受信部10は、接続部5を介してBSアンテナ60、UHFアンテナ62、VHFアンテナ64に接続され、これらの各アンテナを介してBS放送、UHF放送、VHF放送の各放送信号を受信するものであり、各放送信号のビデオ信号とオーディオ信号とをインタフェース30に出力する。

【0010】また、CS用チューナー12は、接続部7を介してCSアンテナ66に接続され、このCSアンテナ66を介してCS放送の放送信号を受信する際の受信チャンネルを選択するものである。また、QPSK復調部14は、QPSK変調されている放送信号の受信データを復調するものである。また、誤り訂正部16は、符号化された受信データの伝送路等において生じた誤りを正しいデータに復元するものである。また、スクランブル解除部18は、スクランブルを解除する機能を有し、カード70から読み込まれたスクランブル用のコードを使用してスクランブル解除が行なわれる。また、データ分離・番組選択部20は、受信データに含まれる独立データや付加データを分離するとともに、ある受信チャンネルにおける複数の放送チャンネル（番組）において、所定の放送チャンネルを選択するものである。

【0011】ここで、CS放送の受信データの構成について説明すると、図2、図3に示すように構成される。

この図2、図3は、1つの受信チャンネルに4つの放送チャンネルと1つの独立データが含まれる場合を示すものであり、バケットごとに独立データや番組データが格納される。この場合は4つの放送チャンネルの場合であるので、4種類の番組データ「番組データ1」～「番組データ4」が格納されている。独立データには、番組案内データや新聞データ等が格納されている。また、各番組データには、映像データと音声データと付加データとが含まれる。この付加データは、映像データや音声データ以外のデータであり、出演者のデータ等が含まれる。なお、図3は、番組データ1の情報量が他の番組データよりも多い場合を示し、例えば、番組データ1が映画番組のデータであり、他の番組データが天気予報等のように静止画に近い画像のデータである場合等がこれに当たる。

【0012】また、映像デコーダ22は、選択された番組における映像データを復号し、音声デコーダ24は、選択された番組における音声データを復号する。また、格納部26は、上記独立データにおける番組案内データや新聞データ、上記付加データを格納する。また、キャラクタジェネレータ28は、文字データを表示部32に

表示するために文字データを映像データに変換するものである。

【0013】また、上記インタフェース30は、該インタフェース30に接続された各機器間のインタフェースを司る。また、表示手段としての表示部32は、映像を表示するものであり、モニタにより構成される。スピーカ34は音声を出力する。また、DVD-RAMドライブ36は、ユーザの指示等に基づき受信データを記録するものである。

【0014】また、上記ホームオートメーション通信部40は、各種のホームオートメーションシステム（以下「HAシステム」とする）B（図4参照）に接続され、該HAシステムBとの通信を行なう。リモコン受光部42は、リモコン68からの出力データとしての赤外線を受光し、該出力データの内容をCPU52に出力する。スロット44は、カード70に記録されたデータを読み取り、その内容をCPU52に出力する。このカード70は例えばICカードであり、このカード70には、ユーザの視聴に応じて徴収料金データが蓄積される。また、モデム46は、公衆回線としての電話回線74に接続され、デジタルデータを電話線伝送に適した音声データに変換するとともに、その逆の処理を行なうものである。なお、電話回線74には、該モデム46を介して電話機72が接続されているものとする。また、記憶部48には各種情報が記憶され、例えば、後述するフローチャートに応じたプログラムやCPU52により得られたデータ等が記憶媒体としての記憶部48に記憶されている。この記憶部48はRAMにより構成される。

【0015】また、上記モジュール50は、上記モデム46に接続され、インターネットに接続するための各種機能を備えている。すなわち、モジュール50は、例えば、表示部32に表示されたホームページ紹介データにおけるユーザの選択に従い、所定のサーバーのアドレスにアクセスし通信を行なう。なお、上記ホームページ紹介データについては後述する。また、モジュール50は、表示部32に表示された番組関連インターネットデータにおけるユーザの選択に従い、所定のホームページの情報を保持する所定のサーバーにアクセスして通信を行なうとともに、所定の電子メールアドレスにアクセスしてメールの送信を行なったりする。

【0016】また、CPU52は、テレビジョン受信装置Aの各部の動作を制御するものであり、受信データ中の独立データにおけるインターネット関連データやインターネットに関連した付加データを格納部26に格納したり、該格納されたデータをキャラクタジェネレータ28やインタフェース30に送り、表示部32やスピーカ34から出力するようになり、さらには、モジュール50が所定の動作を行なうように制御する。

【0017】上記構成に基づくテレビジョン受信装置Aの動作について説明する。まず、CS放送の受信につい

て説明する。通信衛星からのCS放送の放送信号はCSアンテナ66において受信されるが、CS用チューナー12は、受信する受信チャンネルを選択する。そして、QPSK復調部14は、QPSK変調されている放送信号の受信データを復調し、誤り訂正部16は、復調された受信データの誤り訂正を行なう。スクランブル解除部18は、スクランブル解除を行なう。つまり、CS放送でスクランブル放送番組を受信する際には、スロット44よりカード70のコードを読み込ませておくことが必要である。また、データ分離・番組選択部20は、スクランブル解除された受信データに含まれる独立データや付加データを分離するとともに、ある受信チャンネルにおける複数の放送チャンネルにおいて、所定の放送チャンネルを選択する。そして、選択された放送チャンネルの番組について、映像データが映像デコーダ22において復号され、音声データが音声デコーダ24において復号される。また、独立データや番組ごとの付加データが格納部26に格納される。そして、インタフェース30を介して表示部32、スピーカ34に出力される。なお、独立データや付加データにおける文字データはキャラクタジェネレータ28により映像データに変換される。以上のようにして、CS放送の番組が出力される。

【0018】また、BS放送やUHF放送、VHF放送の受信について説明すると、放送信号はBSアンテナ60等を介してBS・UHF・VHF共用受信部10において受信され、ビデオ信号とオーディオ信号がインタフェース30に送られて、表示部32及びスピーカ34から出力される。

【0019】次に、インターネットに関連した制御について、図4から図8を主に利用して説明する。本実施例のテレビジョン放送方法においては、インターネット関連データが独立データや付加データ中に含まれた状態で放送されている。そして、インターネット関連データが独立データ中に含まれた状態で受信されると、データ分離・番組選択部20がこの独立データを分離し、格納部26に格納する（図4 S10）。また、インターネット関連データが付加データ中に含まれた状態で受信されると、データ分離・番組選択部20がこの付加データを分離し、格納部26に格納する（図4 S11）。インターネット関連データの内容については、後述する。

【0020】まず、独立データによるホームページ紹介データの表示とこれに基づくアクセスについて説明する。上記のようにインターネット関連データが独立データに含まれて、格納部26に格納されているものとする。ここで、独立データに含まれるインターネット関連データとしては、ホームページ紹介データやホームページアドレス、さらには、各会社のホームページの表紙データ等がある。なお、上記ホームページアドレスはURLとして送られる。つまり、URLは、プロトコル名とドメイン名等により構成されるが、ホームページアドレ

スはこのドメイン名が相当する。なお、上記プロトコル名は、ホームページの場合であるので、ハイパーテキストに対応して「http」となる。なお、上記インターネット関連データは、記憶部48に記憶させておくようにしてもよい。

【0021】ユーザがホームページ紹介をリモコン68等で選択すると、CPU52はホームページ紹介データを取り込んで、キャラクタジェネレータ28とインタフェース30を介して表示部32等に出力する。ホームページ紹介データは図5に示すように表示される。つまり、ホームページ紹介データには、ホームページを持つ会社名が表示される。

【0022】そして、ユーザがホームページを見たい会社を選択すると、該会社のホームページの表紙を表示し、該ホームページのアドレスに上記URLによりアクセスする。つまり、CPU52は、その会社のホームページの表紙データを格納部26等から取り込み、該表紙データを表示部32に表示させる。例えば、図5のホームページ紹介データにおいて「A社」を選択した場合には、図6に示すように、A社のホームページの表紙データを表示する。また、CPU52は選択された会社のホームページにアクセスするようにモジュール50を制御する。つまり、独立データの中に各会社のホームページについてURLが含まれているので、CPU52は選択された会社のURLを格納部26から取り込み、モジュール50に送る。モジュール50は、送られたURLに従いインターネットを介してアクセスを行なう。なお、アクセスに際しては、プロバイダのアクセスポイントに対してダイヤルすることになる。アクセスが完了し、ホームページの表紙を含むデータを取り込んだら表示部32の表示を書き換えて、通常のインターネットと同様の動作を行なう。なお、すでにホームページの表紙データが表示されているので、通常見掛け上は表示が切り替わることはない。

【0023】なお、上記の説明では、URLにおけるプロトコル名が「http」であるとして説明したが、FTPによりアクセスするようにしてもよい。例えば、あるファイルのファイルリストを独立データの形で受信するとともに表示部32に表示し、同じく独立データの形で受信したURLで、プロトコル名が「ftp」であるURLによりアクセスするようにしてもよい。つまり、この場合には、URLには、FTPのアドレスが含まれていることになる。

【0024】以上のように、テレビジョン放送の受信データの独立データに含められたホームページアドレスを取り込み、ユーザが選択したアドレスにアクセスするので、極めて容易にホームページにアクセスすることができ

【0025】次に、付加データによる番組関連データの表示とこれに基づくアクセスについて説明する。上記の

ようにインターネット関連データが付加データに含まれて、格納部26に格納されているものとする。上記と同様に、記憶部48に記憶させておいてもよい。ここで、付加データに含まれるインターネット関連データとしては、番組関連データやホームページアドレス、各会社のホームページの表紙データ、所定の電子メールアドレス等がある。

【0026】ユーザがある番組を視聴している際に番組関連データのリモコン68で選択する。すると、CPU52は格納部26から番組関連データを取り込んで、キャラクタジェネレータ28とインタフェース30を介して表示部32等に出力する。番組関連データは図7に示すように表示される。つまり、この番組関連データには、その番組のスポンサーのホームページ紹介を選択する選択欄やその番組の関係者に電子メールを送る選択欄等が設けられている。

【0027】そして、ユーザがホームページを見たいスポンサーの会社を選択すると、上記独立データによるホームページ紹介の場合と同様の処理を行なう。つまり、CPU52は、その会社のホームページの表紙データを格納部26から取り込み、表示部32に表示させる。また、CPU52は選択された会社のホームページアドレスにアクセスするようにモジュール50を制御する。アクセスが完了し、ホームページの表紙を含むデータを取り込んだら表示部32の表示を書き換えて、通常のインターネットと同様の動作を行なう。

【0028】一方、ユーザが電子メールの送信を選択した場合には、電子メールプログラムが動作して所定の宛先、つまり、電子メールアドレスに電子メールを送信するようにする。つまり、CPU52はモジュール50に格納されている電子メール送信用メニューを図8に示すように表示部32に表示させるとともに、格納部32に格納されているURLを取り込み、モジュール50に送る。モジュール50はこのURLにより宛先をセットする。例えば、ユーザが「出演者甲氏にメール」を選択した場合には、図8のメニューが表示されるとともに、甲氏宛ての電子メールアドレスがモジュール50にセットされる。

【0029】次に、ユーザはメールの書き込み欄に所定の内容を書き込み、送信を指示する。すると、モジュール50においては、上記の電子メールアドレスにアクセスして、電子メールを送信する。なお、プロトコル名が「ftp」であるURLによりアクセスするようにしてもよい。

【0030】以上のように、テレビジョン放送の受信データの付加データに含められたホームページアドレスを取り込み、ユーザが選択したアドレスにアクセスするので、極めて容易にある番組のスポンサーのホームページにアクセスすることができ、また、付加データに含められた電子メールアドレスを取り込み、ユーザが選択した

関係者のアドレスにアクセスすることにより電子メールを容易に送ることができる。

【0031】

【発明の効果】本発明のテレビジョン放送方法によれば、テレビジョン受信装置によってこのアドレスのデータを取り込んでこのアドレスにアクセスすることにより、インターネットにおけるアクセスをより容易に行なうことができる。

【0032】特に、請求項3に記載のテレビジョン放送方法によれば、テレビジョン受信装置によってこのホームページアドレスを取り込むことにより、ホームページに容易にアクセスすることができる。また、特に、請求項4に記載のテレビジョン放送方法によれば、テレビジョン受信装置によりこのホームページ紹介データを取り込んでこのホームページ紹介データを表示することにより、ユーザにアクセス可能なホームページを知らせることができる。また、表紙データが格納されているので、あるホームページへのアクセスが完了するまでの間、ホームページの表紙を表示しておくことができる。

【0033】また、特に、請求項5に記載のテレビジョン放送方法によれば、テレビジョン受信装置によって上記ホームページアドレスを取り込むことにより、ホームページに容易にアクセスすることができ、また、上記電子メールアドレスを取り込むことにより、出演者等の関係者に容易に電子メールを送ることができる。また、特に、請求項6に記載のテレビジョン放送方法によれば、受信データに番組関連データが格納されているので、テレビジョン受信装置によりこの番組関連データを取り込んで表示することにより、ユーザにアクセス可能なホームページを知らせるとともに、電子メールを送信可能な関係者を知らせることができる。また、表紙データが格納されているので、あるホームページへのアクセスが完了するまでの間、ホームページの表紙を表示しておくことができる。また、特に、請求項7に記載のテレビジョン受信装置によれば、テレビジョン放送の受信データに含められたアドレスに従いアクセスするので、容易にホームページ等にアクセスすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例に基づくテレビジョン受信装置の構成を示すブロック図である。

\*【図2】受信データの構成を示す説明図である。

【図3】受信データの構成を示す説明図である。

【図4】本発明の実施例に基づくテレビジョン受信装置の動作を示すフローチャートである。

【図5】ホームページ紹介データの表示内容を示す説明図である。

【図6】ホームページの表紙データの表示内容を示す説明図である。

【図7】番組関連データの表示内容を示す説明図である。

【図8】電子メールを送信する際のメニュー画面の表示内容を示す説明図である。

【符号の説明】

A テレビジョン受信装置

B ホームオートメーションシステム

10 BS・UHF・VHF共用受信部

12 CS用チューナー

14 QPSK復調部

16 誤り訂正部

18 スクランブル解除部

20 データ分離・番組選択部

22 映像デコーダ

24 音声デコーダ

26 格納部

28 キャラクタジェネレータ

30 インタフェース

32 表示部

34 スピーカ

36 DVD-RAMドライブ

40 ホームオートメーション通信部

42 リモコン受光部

44 スロット

46 モデム

48 記憶部

50 インターネットソフトウェアモジュール

52 CPU

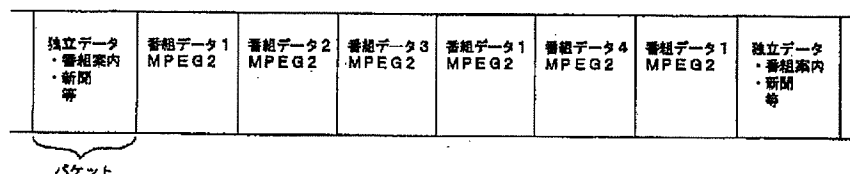
68 リモコン

70 カード

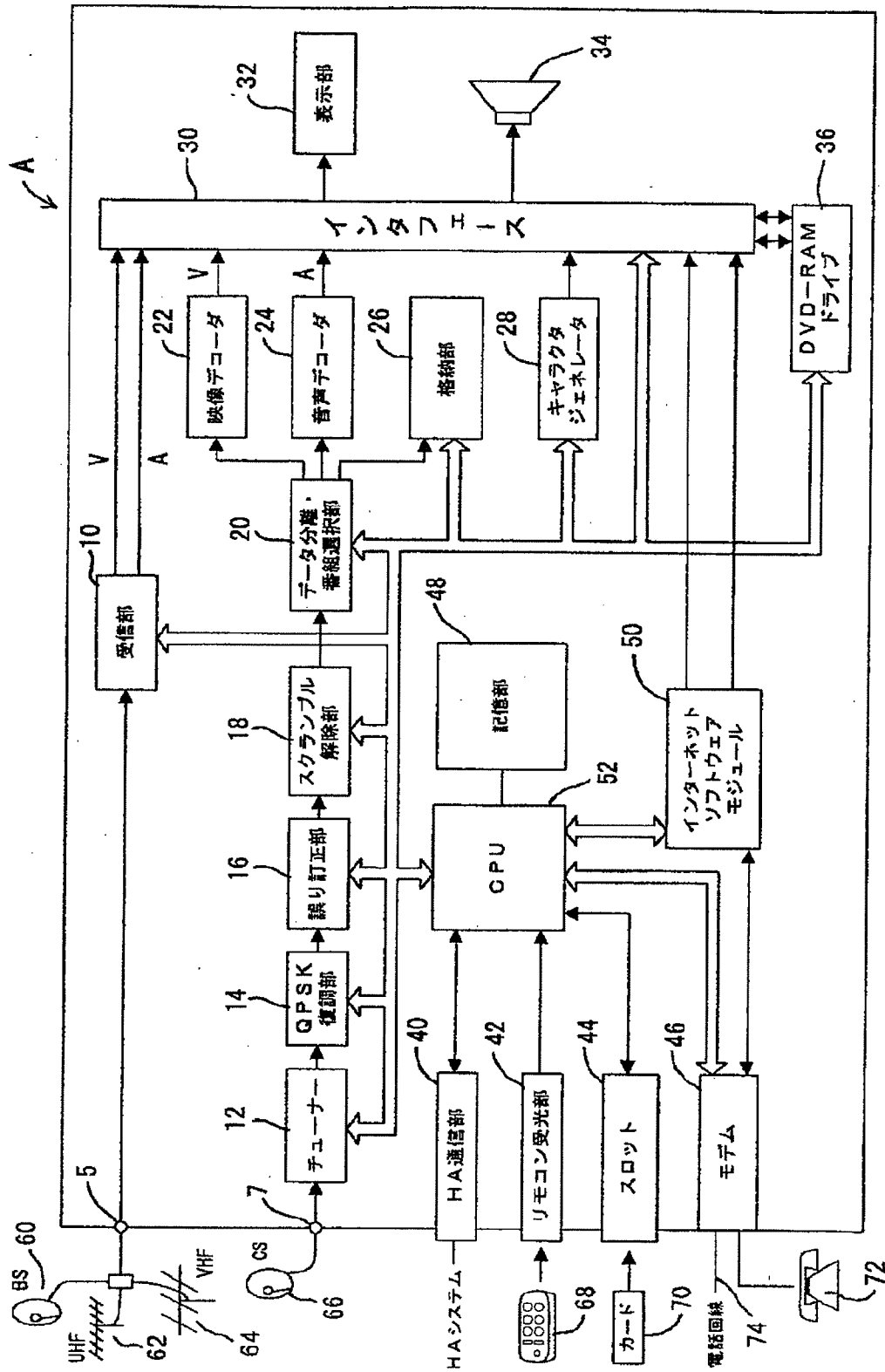
72 電話機

\*40 74 電話回線

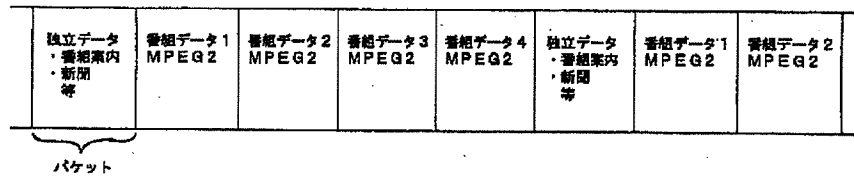
【図3】



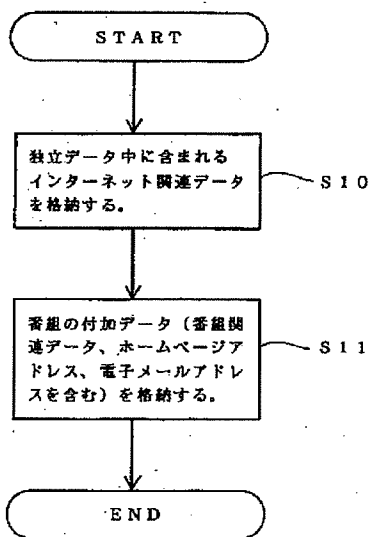
【図1】



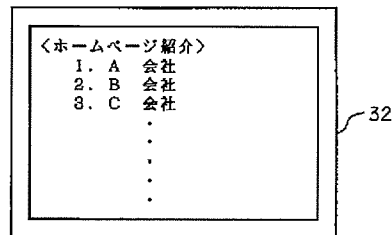
【図2】



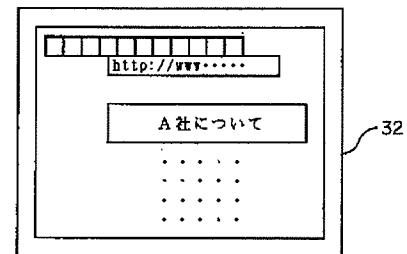
【図4】



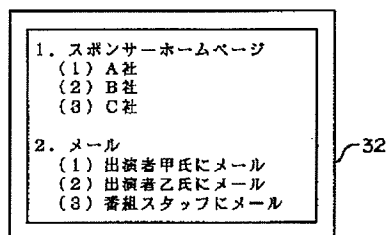
【図5】



【図6】



【図7】



【図8】

